

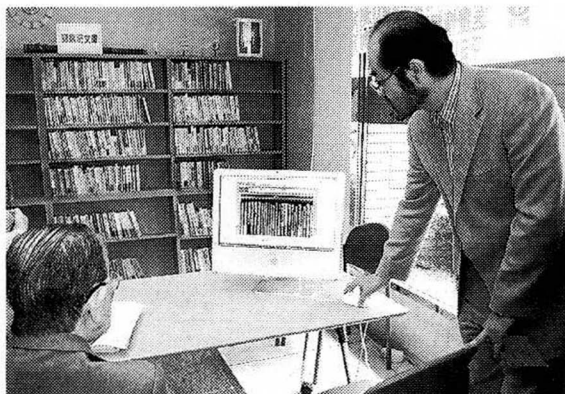
闘病記700冊 ネットで検索

無料サービス始まる

がん、難病などの患者や家族の体験記を集めた「闘病記ライブラリー」(http://toubyoki.info)の無料検索サービスが始まった。インターネット上で約二百の病名に分類された約七百冊の中から、目当ての本を簡単に探すことができる。

公共図書館などに闘病記文庫を設置する運動を進めている「健康情報棚プロジェクト」(石井保志代表)と、国立情報学研究所の高野明彦教授らが共同で開発した。

「がん」「脳の病気」など十二に区分けされた中から具体的な病名を選ぶと、関連する本の背表紙が並ぶ棚が出てくる。背表紙をクリックすれば表紙の裏表を詳細情報とともに表示。実際にページをめぐるように目次や前書きが読める。所蔵している大学図書館も分かる。



「闘病記ライブラリー」のお披露目式で使い方を説明する高野教授(12日、東京・築地の聖路加看護大)

闘病記は、同じ病気と闘う患者や家族にとって貴重な情報源。しかし、タイトルに病名が入っていない場合には検索が難しかった。石井代表は「多くの闘病記を所蔵している各地の公共図書館にも試みが広がってほしい」と期待している。

(山内雅弥)

